

■ソニー電子書籍 Reader™ 親子の読書に関する意識調査■

**親が子供に薦めたい名作本 1位「走れメロス」
しかし約8割の親「薦めたい本の内容をなんとなくしか覚えていない」**

～新生活をきっかけに、親「子供に本を読んでもらいたい」、子「本を読むようにしたい」～

ソニーのReader™は、「親子の読書に関する調査」を2011年2月23日から24日にかけて実施しました。調査は、高校生・大学生300人と、小中高大学生の子どもを持つ親300人を対象にインターネット調査を行いました。

まず、親子両方に対して、一ヶ月の理想と現実の読書数について聞いたところ、親子ともに理想の半分ほどしか本が読めていないことがわかりました。読めていない理由としては、親子ともに「忙しくて読む暇がない」がトップに上がりました。次に、電子書籍端末を使っただけの読書意向を聞いたところ、使ってみたくて回答した人が約4割（親36%、子44%）いました。理由としては、「持ち運びが楽で、たくさんの本を持ち歩ける」といった回答が上位に上がりました。忙しい現代人が隙間の時間で読書するのに電子書籍端末は適しているのではないかと思います。

次いで、親に対して、子どもに薦めたい名作本について聞いてみたところ、1位「走れメロス」、2位「坊っちゃん」、3位「銀河鉄道の夜」といった結果となりました。しかし、約8割の親が「薦めたい本の内容をなんとなくしか覚えていない」ということがわかりました。

また、もうすぐ新生活シーズン到来ということで、新生活をきっかけに本を読みたいか、子どもに読んでもらいたいのか、について聞いてみたところ、70.0%の親が「新生活をきっかけに子どもに本をもっと読んでもらいたい」、51.3%の子どもが「新生活をきっかけに本をもっと読むようにしたい」と回答しました。

■調査結果サマリー

- 1.親の一ヶ月の理想の読書数平均4.5冊。現実には平均2.4冊。
一方、子どもの一ヶ月の理想の読書数平均5.8冊。現実には平均3.2冊。
本が読めていない理由 親子ともに1位「忙しくて読む暇がない」
- 2.電子書籍端末を使って読書してみたい…親36%、子44%
- 3.親が子どもに薦めたい名作本(青空文庫) 1位「走れメロス」
しかし約8割の親が「薦めたい本の内容をなんとなくしか覚えていない」
- 4.「新生活(入学)をきっかけに本を読みたい・読んでもらいたい」親70.0%、子51.3%

**1.親の一ヶ月の理想の読書数平均4.5冊。現実には平均2.4冊。
一方、子どもの一ヶ月の理想の読書数平均5.8冊。現実には平均3.2冊。
本が読めていない理由 親子ともに1位「忙しくて読む暇がない」**

まず、親子に対して、どれくらい読書をしているかについて聞いてみたところ、一ヶ月平均で親2.4冊、子ども3.2冊という結果となりました。

次に、理想の読書数について聞いてみたところ、一ヶ月平均で親4.5冊、子ども5.8冊という結果となりました。親子ともに理想より現実が大幅に下回っており、読書したいけれど実際は読めていないという傾向がわかりました。本が読めていない理由について聞いたところ、親子ともにトップに「忙しくて読む暇がない」、次いで「本よりテレビやラジオ、インターネットの方が面白い」という結果となりました。

		0冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊以上	1冊未満	1冊以上2冊未満	2冊以上	平均	
1ヶ月の現実の読書数(全体)		300	54	133	97	68	36	34	45	16	5	9	2.4冊
親付	高校生・大学生	300	63	63	53	32	25	15	25	10	2	6	3.2冊
	小・中・高・大学生未満	300	91	70	44	36	11	15	20	6	3	8	2.4冊
1ヶ月の理想の読書数(全体)		300	29	95	79	77	75	79	95	24	4	30	4.5冊
親付	高校生・大学生	300	21	25	40	36	39	45	51	12	2	20	5.8冊
	小・中・高・大学生未満	300	8	67	39	41	41	36	67	11	2	10	4.5冊

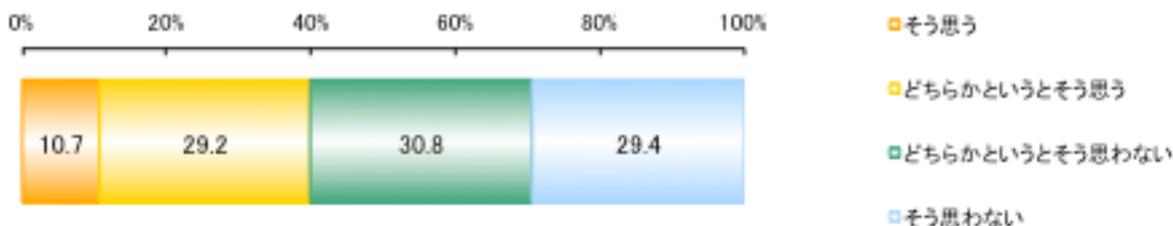
2.電子書籍端末を使って読書してみたい・・・親36%、子44%

次に、電子書籍端末を使っての読書について聞いてみたところ、「電子書籍端末を使って読書してみたい」と回答した人が39.9%（親36.0%、子44.0%）という結果となりました。

また、その理由について聞いてみたところ、「持ち運びが楽」「たくさんの本を持ち運べる」といった意見が多くあがりました。忙しい現代人が隙間の時間で読書するのに電子書籍端末は適しているのではないかと思います。

一方、「電子書籍を読みたいと思っていない」と回答した人の理由としては、「やはり紙の本で読みたい」という意見が多く見受けられました。

■あなたは電子書籍を読みたいと思いますか。



3.親が子どもに薦めたい名作本(青空文庫) 1位「走れメロス」 しかし約8割の親が「薦めたい本の内容をなんとなくしか覚えていない」

次に、親が子どもに薦めたい名作本(青空文庫)について聞いてみたところ、1位「走れメロス」、2位「坊っちゃん」、3位「銀河鉄道の夜」といった結果となりました。

一方、答えてもらった名作本の内容に関して聞いてみたところ、「ストーリー詳細まで覚えている」と回答した人は約2割で、残りの8割の人は、タイトルしか覚えていなかったり、概要しかわからなかったりと、子どもに薦めたい本の内容をなんとなくしか覚えていないことが明らかとなりました。

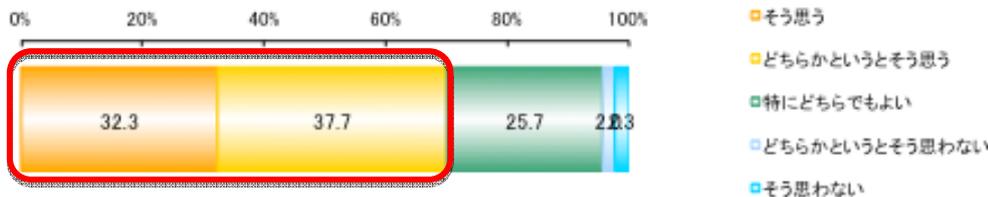
■お子様に薦めたい名作本

	n	%
全体	300	100.0
1 走れメロス	111	37.0
2 この中にはない	110	36.7
3 坊っちゃん	97	32.3
4 銀河鉄道の夜	95	31.7
5 蜘蛛の糸	74	24.7
6 こころ	71	23.7
7 人間失格	66	22.0
8 フランダースの犬	65	21.7
9 ガリバー旅行記	64	21.3
10 羅生門	58	19.3
11 ヘンゼルとグレーテル	51	17.0
12 セロ弾きのゴーシュ	50	16.7
13 プレーメンの町楽隊	49	16.3
14 赤ずきんちゃん	47	15.7
15 風の又三郎	46	15.3
16 斜陽	41	13.7
17 たけくらべ	40	13.3
18 二撮の砂	33	11.0
19 河童	32	10.7
20 クリスマス・カロル	32	10.7
21 檸檬	31	10.3
22 鼻	30	10.0
23 門	24	8.0
24 トロツコ	22	7.3
25 にごりえ	20	6.7
26 山月記	20	6.7
27 高野聖	17	5.7
28 地獄変	14	4.7
29 夢十夜	14	4.7
30 女の顔 —私の好きな—	9	3.0
31 少女地獄	7	2.3

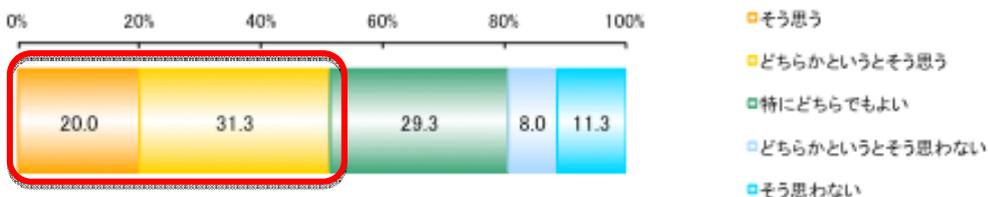
4.「新生活(入学)をきっかけに本を読みたい・読んでもらいたい」親70.0%、子51.3%

次に、もうすぐ新生活シーズン到来ということで、新生活をきっかけに本を読みたいか、子どもに読んでもらいたいのか、について聞いてみたところ、70.0%の親が「新生活をきっかけに子どもに本をもっと読んでもらいたい」、51.3%の子どもが「新生活をきっかけに本をもっと読むようにしたい」と回答しました。

■新生活をきっかけにもっと本を読んで欲しい(親)



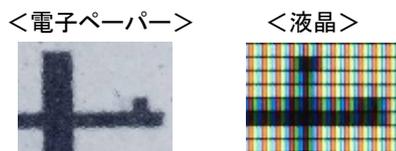
■新生活をきっかけにもっと本を読むようにしたい(子ども)



Reader™ 5つの特徴 ポケットサイズに約1400冊が収容可能

1)紙のように読みやすいディスプレイ

E Ink®社製の新世代電子ペーパー「E Ink® Pearl」を採用。紙のような白さと印刷のようにくっきりとなめらかな文字表記を実現します。



2)ポケットサイズの携帯性

小型・薄型・軽量設計で、持ち運びに最適なサイズ。文庫本とほぼ同等の大きさ・重さ※を実現。



3)紙のように長時間読めるスタミナ

電子ペーパーは、ページをめくる以外では、ほとんど電力を消費しません。そのため、一度の充電で約10,000ページのページ送りが可能です。また、典型的な読書パターンでは、約2週間※の読書が可能です。
※典型的な読書パターン。フル充電時から1日75分の読書(1分当り3ページのペース)をした場合。

4)使いやすいタッチパネル

画面に触れて直感的に操作できるタッチパネルを搭載。画面を軽くなぞるだけで、ページがめくれます。光学式タッチパネルなので、電子ペーパーの白さやコントラストはそのまま、読みやすさを損ないません。



5)電子書籍ならではの機能

- ・文字の調整: XSからXXLまで6段階の文字サイズが選択可能。
- ・メモ機能: 画面に直接文字の書き込みや書籍にハイライトが可能。
- ・ブックマーク: 簡単に読みかけのページをブックマーク保存。
- ・検索: 本体に保存された書籍や、読みたいページを簡単検索。
- ・辞書機能: 英和辞書・英英辞書を収納。
- ・PDF対応: PDFの閲覧が可能。

Reader™ 本体 2つのサイズ・5つのカラーから選択

・5型 Reader Pocket Edition™

文庫本サイズのポケットサイズの携帯性を実現。小型・薄型・軽量設計により、持ち運びに最適な商品を実現。

<5型> Reader Pocket Edition™



・6型 Reader Touch Edition™

この1台で読書しながら音楽も楽しめる。外部メモリにも対応しているため、大容量のデータ保存が可能。

<6型> Reader Touch Edition™



Reader™ 専用アクセサリ 暗間でも快適に読書を楽しめるライト付ブックカバーも用意

- ・ブックカバー <5型>ブルー・ピンク・グリーン
<6型>ブラック・レッド・グリーン
- ・ライト付ブックカバー <5型>ブルー・ピンク
<6型>ブラック・レッド
- ・ソフトキャリングケース <5型/6型>ブルー・ピンク・グリーン



Reader™ 青空文庫 100冊まとめて無料ダウンロード

タイトル	著者	タイトル	著者
或阿呆の一生	[著]芥川龍之介	夫婦善哉	[著]織田作之助
文芸的な、余りに文芸的な	[著]芥川龍之介	大阪発見	[著]織田作之助
鼻	[著]芥川龍之介	旗本退屈男	[著]佐々木味津三
邪宗門	[著]芥川龍之介	坊っちゃん	[著]夏目漱石
地獄変	[著]芥川龍之介	虞美人草	[著]夏目漱石
河童	[著]芥川龍之介	彼岸過迄	[著]夏目漱石
蜘蛛の糸	[著]芥川龍之介	ころも	[著]夏目漱石
羅生門(新字新仮名)	[著]芥川龍之介	草枕	[著]夏目漱石
トロツコ	[著]芥川龍之介	門	[著]夏目漱石
或る女(前編)	[著]有島武郎	三四郎	[著]夏目漱石
或る女(後編)	[著]有島武郎	夢十夜	[著]夏目漱石
カインの末裔	[著]有島武郎	歌集 悲しき玩具	[著]石川啄木
生まれいずる悩み	[著]有島武郎	一握の砂	[著]石川啄木
江戸か東京か	[著]淡島寒月	語る地平線	[著]谷譲次
江戸の玩具	[著]淡島寒月	科学者と芸術家	[著]寺田寅彦
二十世紀旗手	[著]太宰治	時の観念とエントロピーならびにプロバビリティ	[著]寺田寅彦
走れメロス	[著]太宰治	十八時の音楽浴	[著]海野十三
雷嶽百景	[著]太宰治	春は馬車に乗って	[著]横光利一
人間失格	[著]太宰治	少女地獄	[著]夢野久作
パンドラの匣	[著]太宰治	手袋を買いに	[著]新美南吉
斜陽	[著]太宰治	瓶詰地獄	[著]夢野久作
ヴィヨンの妻	[著]太宰治	黄金虫 THE GOLD-BUG	[著]エドガー・アラン・ポー [翻訳]佐々木直次郎
モルグ街の殺人事件(The Murders in the Rue Morgue)	[著]エドガー・アラン・ポー [翻訳]佐々木直次郎	ブレーメンの町楽隊 DIE BREMER STADTMUSIKANTEN	[著]グリム兄弟 [翻訳]楠山正雄
アッシャー家の崩壊	[著]エドガー・アラン・ポー [翻訳]佐々木直次郎	ヘンゼルとグレーテル HANSEL UND GRETEL	[著]グリム兄弟 [翻訳]楠山正雄
まざあ・ぐらす	[翻訳]北原白秋	赤ずきんちゃんROTKAPPCHEN	[著]グリム兄弟 [翻訳]楠山正雄
にこりえ	[著]樋口一葉	作男・ゴーの名誉 THE HONOUR OF ISRAEL HOW	[著]チェスタートン [翻訳]直木三十五
たけくらべ	[著]樋口一葉	クリスマス・カロール A CHRISTMAS CAROL	[著]ディッケンス [翻訳]森田草平
外科室	[著]泉鏡花	イワンの馬鹿 SKAZKA O IVANE-DURAKE	[著]トルストイ [翻訳]菊池寛
高野聖	[著]泉鏡花	フランダースの犬 A DOG OF FLANDERS	[著]マリー・ルイーズ・ド・ラ・ラメー [翻訳]菊池寛
ガリバー旅行記 GULLIVER'S TRAVELS	[著]ジョナサン・スウィフト [翻訳]原民喜	探偵小説アルセーヌ・ルパン EDITH AU COU DE CYGNE	[著]モーリス・ルブラン [翻訳]婦人文化研究会
檸檬	[著]梶井基次郎	顔の美について	[著]伊丹万作
桜の樹の下には	[著]梶井基次郎	食魔	[著]岡本かの子
芥川の事ども	[著]菊池寛	方丈記	[著]鴨長明
悪誓の彼方に	[著]菊池寛	土佐日記	[著]紀貫之
父帰る	[著]菊池寛	『春と修羅』	[著]宮沢賢治
牛肉と馬鈴薯	[著]国木田独歩	シートンの「動物記」	[著]宮本百合子
武蔵野	[著]国木田独歩	「いき」の構造	[著]九鬼周造
酒中日記	[著]国木田独歩	女の顔 ——私の好きな——	[著]黒田清輝
銀河鉄道の夜	[著]宮沢賢治	耳無芳一の話 THE STORY OF MIMI-NASHI-HOICHI	[著]小泉八雲 [翻訳]戸川明三
風の又三郎	[著]宮沢賢治	身毒丸	[著]折口信夫
農民芸術概論	[著]宮沢賢治	巖流島	[著]直木三十五
オツベルと象	[著]宮沢賢治	自分だけの世界	[著]辻潤
ボラーノの広場	[著]宮沢賢治	デンマーク国の話	[著]内村鑑三
セロ弾きのゴーシュ	[著]宮沢賢治	易の占いで金取り出だしたること	[著]南方熊楠
阿部一族	[著]森鷗外	よくぞ能の家に	[著]二十四世 親世左近
高瀬舟	[著]森鷗外	余が言文一致の由来	[著]二葉亭四迷
キタ・セクスアリス	[著]森鷗外	散文詩・詩的散文	[著]萩原朔太郎
李陵	[著]中島敦	死者の書	[著]釋道空
山月記	[著]中島敦	行人	[著]夏目漱石
こん狐	[著]新美南吉	金魚撥乱	[著]岡本かの子